



ウイトラレポート 2009 年 10 月号

「 3GPP の提案する IMT-Advanced 」

はじめに

今月は 3GPP の IMT-Advanced の提案書の内容を分析する。IMT-Advanced は第 4 世代移動通信システムとして国連の下部機関である ITU-R が提案募集を行っているものである。従来は ITU-R に対する提案書の作成は国単位で行っていたが、最近の移動体通信は 3GPP などの民間の標準化団体が実質的な標準を策定しているため、これらの団体で作成された提案書が各国の標準化団体を通して ITU-R に提案されるようになってきている。

ウイトラレポートでは 2008 年 5 月号で 3GPP に参加する企業がそれぞれの考える IMT-Advanced のサービスおよび技術提案を行ったときにその内容を紹介している。現在、IMT-Advanced の提案書で有力視されているのは 3GPP の提案書と、IEEE802 委員会の提案書である。その中でも 3GPP はこれまで対抗していた移動体の標準化組織である 3GPP2 が提案書の提出を諦めたため、実質的に通信業界からのただ一つの提案書となっており、IMT-Advanced の本命となるシステムとみられている。

今回は 9 月の会合で 3GPP としての ITU-R への最終提案書を承認したので、この提案書に盛り込まれた技術内容を分析するとともに、今後の IMT-Advanced の事業化の見通しに関して考察する。